

Role of Prophylactic Vitrectomy in Acute Retinal Necrosis in Preventing Rhegmatogenous Retinal Detachment: Systematic Review and Meta-analysis

Shipei Fan, Dan Lin, Yuqin Wang

Ocul Immunol Inflamm. 2020 Sep 23;1-5. Online ahead of print.

PMID: 32966153 DOI: 10.1080/09273948.2020.1800051

急性網膜壊死(ARN)では抗ウイルス治療により眼底の病変が治まってきて、喜んだ束の間、裂孔原性網膜剥離(RRD)が生じてしまうという苦い経験をすることも少なくありません。本研究ではARNのRRD発症予防に対する硝子体切除術の有効性をシステマティックレビューによって検討しています。その結果、通常の抗ウイルス治療144眼と予防的硝子体切除術を行った121眼では、予防的硝子体切除群でRRDの発症が有意に減少しました(OR = 0.27)。また、治療後の最高矯正視力は予防的硝子体切除群で有意に低下していましたが、これについては、後ろ向き研究であり選択バイアスが生じている可能性が示唆されました。今後は、どのような症例で予防的手術を選択するべきか更なる検討が望まれます。

(担当者: 横浜市大 竹内 正樹)